

タレス、蘭ダーメン・スヘルデ海軍造船社とドイツへ納入する 多用途戦闘艦 MKS180 の建造で協業

- 4隻の MKS180 に搭載される戦闘指揮システムの納入および搭載にむけた統合作業において 15 億ユーロの契約を締結
- 欧州の防衛産業発展における重要な役割を担うことで海上防衛分野でのタレスのリーダーシップを強化
- タレス史上最大規模の契約のもと TACTICOS (戦闘指揮システム) と AWWWS (水上戦用システム) の射撃統制クラスターを納品



オランダ・ヘンゲロー(2020年11月18日)ーグローバルなテクノロジーリーダーであるタレスは、蘭ダーメン・スヘルデ海軍造船社と、ドイツ海軍へ納品を予定している4隻の多用途戦闘艦 MKS180 に搭載される戦闘指揮システムと当該システムの統合・実装に関する契約を2020年11月17日に締結したことを発表しました。本戦闘艦に搭載されるシステムは、ダーメン・スヘルデ社が設計を主導ならびにプロジェクト管理を行い、ドイツ国内の造船所で建造されます。

15億ユーロにのぼる本契約は、海上防衛分野におけるタレスの実績を広く示すものとなります。オランダのヘンゲロー、ドイツのキールおよびビルヘルムスハーフェンに位置するタレスの海軍研究開発施設「センター・オブ・エクセレンス」において、ドイツの複数の下請け企業との協力によって製造を進めます。

本契約は、ドイツならびにオランダ両国の海軍産業における協力関係と、これまで積み重ねてきた実績に基づき成立したものです。過去にタレスが協力してきた多数の海軍造船プロジェクトには、ダーメン・スヘルデ社だけでなくオランダ防衛省も参画しています。さらに、欧州における最大規模のプログラムとして、造船所と提携企業との協力関係をさらに強固にしていきたいとするダーメン・スヘルデ社とタレスの意欲も示しています。

タレスが提供するソリューションには、戦闘指揮システム「TACTICOS」と水上戦用システム(AWWWS: Above Water Warfare System)の射撃統制クラスター(Fire Control Cluster)が搭載されています。本契約には、4隻の MKS180 への船舶システム、物流サービス、多拠点陸上訓練場試験、オプションとして1~2隻分の追加が含まれています。

AWWS は、複雑化する飽和攻撃への対抗と無力化を可能にする最先端戦闘システムとして、戦闘環境と味方リソースの配置を継続的に分析し最適化させます。AWWS は、タレスの実績ある AESA*多機能レーダーの進化型である APAR* B12 と組み合わせることが可能です。タレスでは、2019 年にベルギー海軍とオランダ海軍が新造した M 級フリゲート艦に搭載された AWWS 開発契約も受注しています。

過去には、欧州の NATO 加盟国海軍から複数の大型契約を受注した経緯もあることから、タレスの革新的ソリューションとパートナーとしての信頼性は高く認められています。これらの契約実績に基づき、タレスは NATO の海軍戦闘システムの事実上の標準的パートナーとなっています。

このたびの多用途戦闘艦 MKS180 の初号艦は、2028 年の運用予定となっており、このたびの協業プログラムは 10 年以上にわたり継続されるものとなります。

タレス・オランダの最高経営責任者であるヘルベン・エデルン(Gerben Edelijn)は、「競争入札という厳格な枠組みの中で、このような大規模契約を受注できたことは、海上防衛における当社の総合力が世界を牽引していることを示すだけでなく、その地位を強固にするものです。当社が提供する革新的な技術が、ドイツ海軍の現在から将来に至るまでの任務遂行を可能にし、あらゆる戦場での安定稼働に大きく貢献していきます」と述べています。

タレス・ドイツの最高経営責任者であるクリストフ・ホベ(Christoph Hoppe)博士は、「MKS 180 建造の協業パートナーとして、付加価値の高いサービスを提供するだけでなく、欧州における長年のパートナーシップから実証済みのシステムに関する知見を提供します。このたびの協業は、欧州の防衛協力の模範的な枠組みのもとで、ドイツに質の高い新規雇用を創出するとともに、ドイツ海軍の運用能力を同盟国内で最高レベルに維持することにも貢献していきます」と述べています。

タレスの会長兼最高経営責任者であるパトリス・ケイン(Patrice Caine)は、「このたびの選定は、ドイツ海軍およびダーメン・スヘルデ社との長年にわたる協力関係をさらに強固にするものであり、大変光栄に思うとともに、お客様からの変わらぬ信頼に心から感謝しています。この大型契約は、海上防衛における最高レベルの総合力を提供する当社のグローバルリーダーとしての地位を確固たるものへと高めてくれます。タレスが有している多様な人材が携わる最先端技術システムの恩恵をドイツ海軍に享受していただけると確信しています」と述べています。

* APAR: Active Phased Array Radar

* AESA: Active Electronically Scanned Array

タレスについて

タレス(本社:フランス・パリ、Euronext Paris: HO)は、コネクティビティ、ビッグデータ、人工知能、サイバーセキュリティ、量子コンピューティングといったデジタルやディープテックのイノベーションに注力するテクノロジーのグローバルリーダーとして、社会の発展に向けた基盤形成により、誰もが信頼できる未来の構築を目指しています。

意思決定者への支援に注力するタレスは、防衛、航空、宇宙、陸上交通、デジタルアイデンティティ&セキュリティ市場向け製品・サービスを提供すると共に、企業・団体・政府機関などあらゆる組織の重要性が高い業務遂行に貢献しています。

68 カ国に 8 万 3000 人の従業員を擁するタレスの 2019 年度売上高は、190 億ユーロを記録しています(ジェムアルトの 12 カ月間分を含む)。

タレスの海上防衛事業について

タレスは、50 年以上にわたり海軍機器、システム、サービスを提供してきた実績を活かし、世界の海上防衛組織に比類のない専門知識とシステム運用の知見を提供しています。また、進化を続ける海軍・海事情への理解と深い洞察から幅広い海上防衛組織の任務達成に貢献しています。タレスの航空および陸上防衛、対潜戦、海上安全・保安システムは、現在 50 以上の海上防衛に活用されています。

タレス・オランダについて

ヘンゲロ、エンスヘデ、フィゼン、デルフト、ハーグ、アイントホーフェンの各拠点に合計 2,200 名のスタッフを擁し、コマンド&コントロール、公共交通機関の IC チップカード、通信システム、サイバーセキュリティなど、防衛、輸送、セキュリティ領域における複雑なシステムの開発、生産、統合に支援しています。

タレス・ドイツについて

タレスグループにおける最大規模の海外法人の 1 つとして、11 にわたる拠点に 3,800 人の従業員を擁し、独自の製造・開発を実施しています。2019 年の売上高はドイツ製品としての付加価値を生み出し、12 億ユーロに達しています。総合エレクトロニクス企業としてだけでなく、ハードウェアを含むシステム開発を行うタレス・ドイツは、ドイツのエンジニアリングの伝統を受け継ぎ、ハイテク産業の一員として認められ、国内外の顧客に、安全で信頼性の高い最先端の通信、情報、制御システム、および安全な地上、航空、海上における輸送サービスを提供していることから、民間および軍事的なセキュリティニーズに対応しています。さらに、タレス・ドイツはサイバーセキュリティ分野での包括的な IT ソリューションも提供しています。

本記者発表文の公式バージョンはオリジナル言語版です。翻訳言語版は、読者の便宜を図る目的で提供されたものであり、法的効力を有していません。翻訳言語版を資料としてご利用になる際は、法的効力を有する唯一のバージョンであるオリジナル言語版と照らし合わせて頂くようお願い致します。

<https://www.thalesgroup.com/en/group/journalist/press-release/damen-and-thales-build-german-mks-180-frigate-future>

PRESS CONTACT

Thales Japan PR 事務局(プラップジャパン)

担当: 沖山/松本

Tel: 03-4580-9134

Email: Thales@prap.co.jp

タレスについて、下記もご覧ください

タレスグループ

防衛とセキュリティ

高解像度画像のダウンロード

 [@Thalesgroup](https://twitter.com/Thalesgroup)